

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	平成23年度は年3回の開催を予定していたが、台風被災により第2回目の会議が開催できなかった。平成24年3月に第2回目の会議を開催した。今後は日程調整や協議事項に対するいくつかの課題はあるものの回数を増やす必要がある。	平成24年度は、最低でも年4回の運営推進会議の開催を予定していきたい。	前回の会議では、災害に関する体験談や防災対策をテーマとしたところ非常に熱心な意見をいただいた。話し合う内容を固苦しくせずに、タイムリーな話題等もいれる工夫をして気軽な雰囲気での会議を開催していきたい。	12ヶ月
2	11	管理者自身も施設に常駐していることで、職員との距離は身近であり、職員から直接提案や意見を聞くことができるが、介護現場の人員確保が難しく、特にリーダーや中堅職員の育成に苦慮している。	リーダーをはじめ他の職員が、いろんな企画事やケアプラン作成にあたって、自由な意見や提案をすることで、前向きな姿勢で参加できる職場を目指していきたい。	企画によっては職員を専任させて経験を積ませたり、管理者と一緒に参画する中で直接指導をおこなうことで育成を図っていききたい。管理者と職員が身近な距離であるメリットを生かしていきたい。	12ヶ月
3	26	ケアプランは担当職員が中心となりケアマネジャーと一緒に定期的なアセスメントやモニタリングをおこなっているが、それぞれの流れや関連性が見えにくい点が指摘されている。	アセスメント、ケアプラン、モニタリングの関連について、ケアマネジャーだけでなく介護職員が理解しやすい様式づくりに取り組んでいきたい。	ケアプランのサービス内容について、一連の流れや具体的な支援方法が理解できるような様式を目指したい。介護職員が納得できるように自由な発想の提案を積極的に取り上げていきたい。	12ヶ月
4	40	調理の準備、配膳、後片付けをしていただいている方もいるが、高齢や心身状態の関係もあり、全体としては据え膳で食事が運ばれてくるのを待っているお客様的な雰囲気は強いと感じる。	日々の暮らしにおける楽しみとしての食事について改めて考えると、その支援のあり方についてみんなで取り組みたい。	ひとりひとりの力や個性を再把握するとともに、入居者の生活意欲が高まったり心の張りが生まれるような支援方法についてケアプランから実践までの過程の中で検討していきたい。	3ヶ月
5	49	外出や散歩への声かけをおこなっているが、高齢者やADLが低い方が多く、拒否されるケースが多い。気候の影響も大きいと思われる。災害後は地域内の住居や店舗も減り、人通りもすくなく活気もなくなったことも要因と考える。	外出や交流を通じて社会との関わりを持つことで少しでも生活意欲を高めるような工夫をしていきたい。	時間や距離で外出のレベルを判断するのではなく、屋外へ出たり隣のユニットへ遊びに行くことでも大きな気分転換となる。屋外のベンチから景色を眺めたり飲み物を飲むひとときを味わえるような支援を心がけていきたい。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。